

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	埼玉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 葵学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	330 時間	320 時間	
	理学療法学科	夜・通信	150 時間	135 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	埼玉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 葵学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	医療施設 役員	令和2年4月1日～ 令和6年3月31日	組織運営体制への チェック機能
常勤	医療施設 医師	令和2年4月1日～ 令和6年3月31日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	埼玉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 葵学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則をシラバス作成の基盤としており、さらに、国家試験出題基準や臨床実習で必要とされる知識によって、方向性が決定される。</p> <p>担当教員、開講学年、時間数・単位、授業概要、到達目標、使用教材、成績評価方法・基準等を明らかにし、統一した書式を用いて作成する。</p> <p>教務会議において統一的な指針のもとで内容の点検・整備する体制をとり、シラバスの作成時期は、授業開始前年度の2月におこない、入学直後の授業開始前の3月から4月に公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価の方法は、あらかじめシラバスに記載されており、筆記試験、実技試験、学習状況、欠席状況等があり、それらを総合して評価する場合は、SA, A, B, C, Dの5段階評価とする。</p> <p>成績評価の基準は、あらかじめ学則細則で定められており、下記のとおり100点満点(素点)で行い、6割以上(C以上)を合格基準として、学業成績証明書には「SA」「A」「B」「C」「D」が記載される。</p> <p>100点～90点・・・SA、89点～80点・・・A、79点～70点・・・B、69点～60点・・・C、60点未満・未受験・・・D(不合格)</p> <p>学則細則は、授業開始前の3月または4月に、HPに掲載される他、学生に配布される。</p> <p>各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定された各科目の筆記試験、実技試験、学習状況等により厳格かつ適正に成績評価を実施し、その成績評価に基づいて、単位授与を実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価をポイント(SA[評価：秀、評点 100 点～90 点]は 4.0、A[評価：優、評点 89 点～80 点]は 3.0、B[評価：良、評点 79 点～70 点]は 2.0、C[評価：可、評点 69 点～60 点]は 1.0、D[評価：不可、評点 59 点以下]は 0)化し、そのポイントに各科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位数で割ってGPAを算出している。</p> <p>GPAの算出式は下記</p> $4.0 \times \text{秀の習得単位数} + 3.0 \times \text{優の習得単位数} + 2.0 \times \text{良の習得単位数} + 1.0 \times \text{可の習得単位数}$ <p style="text-align: center;">総履修登録単位数 (「不可」の単位数を含む)</p> <p>上記のあらかじめ設定した算出方法によりGPAを算出しており、前期、後期の学期末に、成績の分布状況の把握をはじめ、成績評価を適切に実施している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>基礎分野において、医療従事者としての一般教養を身につけ、専門基礎分野において、理学療法専門分野の基礎を学び、専門分野において理学療法の実践を学んだ者に単位を授与し、また本校の教育理念に掲げる「人々の生活の質の向上に貢献する医療従事者」となるために、人間・生命の尊厳を理解し、患者等と対等に向き合え、患者等の生活と人生の質の向上に配慮できる能力を身につけ、卒業要件を満たした者に卒業を認定する。</p> <p>学則(第10条の所定の単位を修得)に基づき、適切に卒業を認定している。卒業要件、卒業判定の手順は、所定の期間在学し学則第10条の所定の単位を修得した者に、判定会議の審議を経て学校長が卒業を認める。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	埼玉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 葵学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	名称:「埼玉医療福祉専門学校情報公開資料」 入手方法:校内に掲示及び図書室に配架、希望者には配布。
収支計算書又は損益計算書	https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html
財産目録	名称:「埼玉医療福祉専門学校情報公開資料」 入手方法:校内に掲示及び図書室に配架、希望者には配布。
事業報告書	名称:「埼玉医療福祉専門学校情報公開資料」 入手方法:校内に掲示及び図書室に配架、希望者には配布。
監事による監査報告（書）	名称:「埼玉医療福祉専門学校情報公開資料」 入手方法:校内に掲示及び図書室に配架、希望者には配布。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3480 単位時間	705 単位時間	1740 単位時間	1035 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3480 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		144人	0人	7人	14人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則を基盤としたシラバスにそい、授業を実施する。 講義・実習・演習の組み合わせの授業方式。1学年は解剖学や生理学など医学の基礎科目を中心に学び、2学年は病気や障害がおこる仕組みや検査方法を学習する。3学年は7週間の臨床実習を2回実施し症例に応じた理学療法評価を行う。4学年は7週間の臨床実習を経て、授業と国家試験対策を実施。
成績評価の基準・方法
（概要） 筆記試験、実技試験、学習状況、欠席状況を総合して評価する場合は、SA,A,B,C,Dの5段階評価。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>基礎分野において、医療従事者としての一般教養を身につけ、専門基礎分野において、理学療法専門分野の基礎を学び、専門分野において理学療法の実践を学んだ者に単位を授与し、また本校の教育理念に掲げる「人々の生活の質の向上に貢献する医療従事者」となるために、人間・生命の尊厳を理解し、患者等と対等に向き合え、患者等の生活と人生の質の向上に配慮できる能力を身につけ、卒業要件を満たした者に卒業を認定する。</p> <p>卒業基準は所定の期間在籍し、全科目を履修し単位認定を受けること。進級基準は各学年で必要科目の履修と単位認定を受けること。履修方法は履修単位制。授業科目を履修して試験に合格すれば科目認定を与えられる。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>1年生は入学時と夏休み前に個別面談を実施。2～4年生については、学生個人の成績・出席・学生生活等の状況によって個別の面談を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	34人 (97.1%)	1人 (2.9%)
(主な就職、業界等) 総合病院、クリニック、介護老人保健施設等。			
(就職指導内容) 就職説明会や学生個人に合わせ個別の面接指導を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士国家資格受験資格取得・福祉住環境コーディネータ2級・普通救命講習 令和4年度卒業生 国家試験受験生33名、合格者33名、合格率100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
157人	14人	8.9%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、成績不振、進路変更等。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生全員に対し個別面談を実施。面談を行うことで、成績や健康上の問題を抱える学生に対しては、学習方法や生活習慣改善の指導を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	3120 単位時間	765 単位時間	1410 単位時間	945 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3120 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		96人	0人	7人	7人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則を基盤としたシラバスに沿った授業を実施する。講義・実習・演習の組み合わせの授業方式。1学年は医学基礎を中心に学び、身体の基本的な構造・機能を理解する。2学年は理学療法技術の論理的背景を理解し、検査・測定を実施。3学年は3回の臨床実習で症例に応じた理学療法評価を行い、また国家試験対策をする。
成績評価の基準・方法
（概要） 筆記試験、実技試験、学習状況、欠席状況を総合して評価する場合は、SA, A, B, C, Dの5段階評価。
卒業・進級の認定基準
（概要） 基礎分野において、医療従事者としての一般教養を身につけ、専門基礎分野において、理学療法専門分野の基礎を学び、専門分野において理学療法の実践を学んだ者に単位を授与し、また本校の教育理念に掲げる「人々の生活の質の向上に貢献する医療従事者」となるために、人間・生命の尊厳を理解し、患者等と対等に向き合え、患者等の生活と人生の質の向上に配慮できる能力を身につけ、卒業要件を満たした者に卒業を認定する。卒業基準は所定の期間在籍し、全科目を履修し単位認定を受けること。進級基準は各学年で必要科目の履修と単位認定を受けること。履修方法は履修単位制。授業科目を履修して試験に合格すれば科目認定を与えられる。
学修支援等
（概要） 1年生は5月と夏休み明けに個別面談を実施。2・3年生については、学生個人の成績・出席等の状況によって個別の面談を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	0人 (0%)	28人 (93.3%)	2人 (6.7%)
（主な就職、業界等） 総合病院、介護老人保健施設等。			

(就職指導内容) 就職説明会や学生個人に合わせ個別の面接指導を行う。
(主な学修成果(資格・検定等)) 理学療法士国家資格受験資格取得 令和4年度卒業生 国家試験受験生 29名、合格者 29名、合格率 100%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115人	10人	8.7%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由、成績不振、進路変更、家庭の事情等。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生全員に対し個別面談を実施。面談を行うことで、成績や健康上の問題を抱える学生に対しては、学習方法や生活習慣改善の指導を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理学療法学科(昼)	100,000円	800,000円	400,000円	実習費、 教育充実費
理学療法学科(夜)	100,000円	800,000円	350,000円	実習費、 教育充実費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校が行った自己評価の客観性・透明性を高めていくとともに、学校関係者それぞれの立場、視点から意見を出し合い、評価結果を教育活動その他の学校運営の改善などにかす。</p> <p>主な評価項目として（１）学校の概要、目標及び計画（２）各学科等の教育（３）教職員（４）キャリア教育・実践的職業教育（５）様々な教育活動・教育環境（６）学生の生活支援（７）学生納付金・修学支援（８）学校の財務等がある。</p> <p>改善方策は、学校長を責任者として翌年度内に実施する。</p> <p>評価体制は、学校関係者として卒業生、企業等から各 1 名以上の委員が参画した学校関係者評価委員会を構成して評価を実施する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科講師	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	企業等委員
深谷中央病院	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 6 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html</p>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構		

c) 当該学校に係る情報

<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>https://aoi.ac.jp/saitama/jouhou/index.html</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H111321900046
学校名	埼玉医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 葵学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	－	13人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				13人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。